

平成 29 年度第 2 回浜松市福祉有償運送運営協議会議事録

日 時 : 平成 30 年 3 月 15 日 (木) 午後 3 時 00 分～
会 場 : 浜松市役所 8 階 第 4 委員会室
出 席 者 : 内藤伸二郎会長、野田由佳里副会長、兼子丈晴委員、安間清弘委員、
二槇眞洲男委員、藤木るみ子委員、丸山晃司委員、大西優二委員
米田典弘委員、小栗信行委員、犬塚壮多委員
森田孔二特別委員、北村忠洋特別委員
欠 席 者 : 大倉 篤委員、藤田かつ太郎委員
事 務 局 : 福祉総務課長補佐、福祉総務課総務調整グループ長他

1. 開 会 (15 時 00 分～)

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 運行状況報告《資料-1》

運行状況報告一覧に基づき事務局より説明

【質疑応答】

犬塚委員 雄踏フレンドライは、今期収入が 692,100 円の減となっているが、NPO でやっている中で、これだけ収入が減るのは大変であると思う。事業者はどのように言っているか？

【事務局】 減収は法人としては厳しいが、会員は増えている状況である。会員増の理由は、平成 29 年度から高齢者に対するバスタクシー券の配布が亡くなったことも影響している。前期の収益が多かった。その他、亡くなった会員のその親族が紹介で利用される場合があった。

収入については、上半期は 330 万円で上半期よりも 69 万円減っているが、実際には上半期の収入が多かった。例年の収入を見ると半期で 230～280 万円くらい。そこから見ると、330 万円はこれまでより増えており、厳しいのは厳しいが、維持はできている。

(2) 登録事項変更届出報告《資料-2》

登録事項変更届出報告に基づき事務局より説明

(3) 浜松市福祉有償運送運行団体の実態調査報告《資料-3》

実態調査報告に基づき事務局より説明

【質疑応答】

二橋委員 福祉事業者等関係機関との連携や効果的な PR 方法について検討していく必要があるというが、ぜひとも取り組んでいただきたい。

過去には 15 ほどあった事業所が、現在は 5 事業所しかなくなってしまった。事業者のメリットよりも利用者側のメリットを考える必要がある。

あと利用者が退会した後、不自由がないのか？事後の調査をやってもらいたい。

【事務局】 今後検討していきたいと考える。

犬塚委員 PR 方法というが、「料金がタクシーの半額です」などとは PR できないので、どう PR をしたらいいかは難しい。

藤木委員 会員を増やすことも大切ではあるが、会員の人の中には、使いたい時に断られてしまうことがあった。そういうことが 1~2 回続くと、利用を控えてしまう。

犬塚委員 運転手のなり手がいないのが現状。外出支援をしているので、運転手だけでなく、ヘルパーの求人も出しているが、応募がない状態のため、人材の確保が難しい。必要なのは、人手不足を解消することである。

内藤会長 いま介護現場でも、同様に介護人材の確保の問題があるが、同じような課題があるということであろう。他に質問等はあるか。

小栗委員 車両の整備管理や安全運行についての考えも報告にあったが、運転者の健康診断のことなど気になる。やはり事故のないように慎重にしていきたい。

【事務局】 事業者では健康診断などを行っているか？

犬塚委員 運転手の中でも社保に加入している運転者については、健康診断を行っているが、その他の従業者については、自身で健康診断を行っている。

内藤会長 その他に質問や意見はないか。

では、議事の 3「平成 29 年度福祉有償運送運行団体実態調査報告」については、報告を受けたこととする。

【事務局】 「福祉有償運送に関する調査について」に基づき事務局より説明

内藤会長 ただ今の報告について何かご質問はあるか。

犬塚委員 運営団体の種別を見ると、NPO 法人が多いが、NPO の中でも認定 NPO などもある。我々、NPO に求められる責任が大きいと感じる。

内藤会長 この調査について、福岡市はどのような目的で行ったのか。

【事務局】 この調査は、昨年度も実施しているが、福岡市の福祉有償運送運営協議会において報告をしていたとのこと。

内藤会長 平成 29 年 3 月末現在ということであるが、年間の数字ということか？

【事務局】 それぞれ、平成 29 年 3 月末現在における数字である。

【事務局】 それでは、以上をもって平成 29 年度第 2 回浜松市福祉有償運送運営協議会を終了する。

4. 閉会(16 時 00 分)